

患者さんへ

**「肝細胞癌患者におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法中の
尿蛋白増加の発現因子と治療継続性への影響」**

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2021年2月～2025年12月にアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法を投与された肝細胞癌の方
2 研究目的・方法	<p>アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法は、肝細胞癌に対する一次治療として広く用いられています。一方で、ベバシズマブに起因する尿蛋白増加や高血圧などの腎・循環器系有害事象は、治療継続性に影響を及ぼす重要な課題です。なかでも尿蛋白増加は、治療休薬や減量の判断に直結することが多く、臨床現場における管理上の重要性が高くなっています。</p> <p>本研究では、アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法を受けた肝細胞癌患者さんを対象に、尿蛋白/クレアチニン比高値発現に影響を及ぼす因子について検討し、尿蛋白/クレアチニン比高値の早期発現と治療継続性との関連性を評価することを目的とします。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2026年1月予定)後～2026年6月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、eGFR、Cr、蛋白尿、血圧、既往、使用薬剤 等
5 個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
6 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p> <p>坂本 竜平(研究責任者)</p> <p>和泉市立総合医療センター 薬剤部</p> <p>住所:大阪府和泉市和気町 4-5-1</p> <p>連絡先:0725-41-1331</p>